



DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー（本誌）

2025年12月号（11月10日発売予定）

DHBRオンライン

2025年11月10日公開

12月号 編集特集
(11/10発売号)P. F. ドラッカー 真摯
さとは何か
(没後20周年企画)
(仮)

サーキュラーエコノミーの共創

-循環型ビジネスのデザインと実装-



【対象サービス】

サーキュラーエコノミー推進支援
 サーキュラーエコノミー戦略策定支援
 サーキュラーエコノミー事業関連支援
 サステナブル経営支援/ESG経営支援
 ビジネスモデル転換支援

2025年7月現在



※表紙イメージ
(実際とは異なります)

■ 企画趣旨

持続的な未来創造のために不可欠なサーキュラーエコノミー。
高度な専門性と深い洞察力をもとに企業を支援する皆様の取り組みを、未来の市場を共創していくであろう、パートナーとなりうる企業の経営者・事業責任者へ訴求してまいります。

世界的に資源不足が顕在化し、地政学や経済安全性といったリスクへの対応が求められる時代へ変化してきました。そうした中、数年前から脚光を浴びているサーキュラーエコノミー(CE)。その実現に向けた法整備や国家戦略の追い風を受け、単なる環境貢献活動から競争戦略の一つへと認識が変化し、日本企業のCEへの取り組みは、大きな転換期を迎え活発化しています。

一方で、従来の線形経済モデルからの変革には、動脈産業・静脈産業といった産業の枠組みを超えた連携や旧モデルを是とする企業体質の改善など数多の障壁が存在しています。CEを実装するためには、未来の収益の柱となる「新たな循環型事業の創造」と、既存事業の競争力を未来へと繋ぐ「事業プロセス全体の変革」、この二つの「両輪」が不可欠です。

そのため今求められているのは、個別企業の変革を内部から加速させる「**事業実装の推進力**」と、業界全体のルールメイキングや未来の市場を構想する「**社会変革の大局観**」、その両面を担う外部パートナーとの共創です。貴社との共創は、クライアントを単なるCE実践企業に留まらず、新たな市場のルールを自ら創り出し、追従を許さない競争優位性を確立する「マーケットリーダー」へと変革させる原動力となります。

そこで、DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー12月号(11月9日発売)では、**【サーキュラーエコノミーの共創-循環型ビジネスのデザインと実装-】**と題した特別広告企画を実施いたします。不透明な市場の中をひた走る日本企業の経営者層や事業責任者へ向けて、CEという経済モデルを共創する貴社の取り組みを、訴求してまいります。

DHBRというマネジメントリーダーたちの学び舎を通して、貴社の優位性をアピールする絶好の機会です。この機会にぜひご出稿をご検討いただけますよう、よろしくお願いいたします。



DIAMONDハーバード・ ビジネス・レビュー とは

米国以外では世界で最も早く
1976年に創刊。
2026年に50周年を迎えます。
創刊以来、グローバル・リーダー
を目指す人のための日本で唯一
のマネジメント誌として高い評価
を受けており、最近では、起業家
やベンチャー経営者など若手のビ
ジネスリーダーからも絶大な支持
を得ています。

■ 2025年12月号（11月10日発売）編集特集内容

P. F. ドラッカー 真摯さとは何か（仮題）

（没後20周年企画）

“マネジメントの父”ピーター F. ドラッカーの逝去から、2025年11月で20年が経つ。巨星は落ちてもその教えはいまだ色褪せることなく、ベテランの経営者からスタートアップ企業のファウンダーまで、世代を超えて影響力を及ぼし続けている。ドラッカーの生涯を通じた最大の関心事は「社会的存在としての人間の自由と平等」であり、そのために社会、組織、企業はどうあるべきか、一人ひとりの人間は何をなすべきかを問い続けた。その精神は、AI全盛のこの時代だからこそなおいっそうビジネスリーダーの心に直接訴えてくるものがある。

この号では、ドラッカー没後20周年という節目にあためて思想家ドラッカーに光を当てる。その著作、その教えを紹介するとともに、いまという時代の文脈に合わせてドラッカーをどう血肉にしていけばよいのか、読者をガイドする。

●セクション1（概論：特集全体のメッセージを打ち出す）8p

いまこそ問う、誰がためのマネジメントか：ドラッカーが希求した「人間中心の経営」（仮）

by ジム・コリンズ（『ビジョナリー・カンパニー』著者）

ドラッカーは生前最後のインタビューで、「ネット社会の進展によって何が起きるかはやわからない」と語っていた。それから20年の歳月が流れる間に、社会はどう移ろい、マネジメントのあり方はどう変わってきたのか。ドラッカーが生きた時代から社会が大きく変容したいま、私たちがふたたび参照点とすべきドラッカーの慧眼あるいは警句とは何か。ドラッカーの思想を深く理解し、『ビジョナリー・カンパニー』をはじめとする著作を通して世界の経営者たちに時代を超えてインスピレーションを与えているジム・コリンズ氏に聞く。

●セクション2（「真摯さとは何か」を多面的に捉える）6p×3＝18p

- 経営者枠 by 高田明（ジャパネットたかた 創業者）※確定
- 国際機関枠 by 中満泉（国連事務次長）※確定
- 専門家枠 by 中島隆博先生（東京大学教授、哲学者）※確定

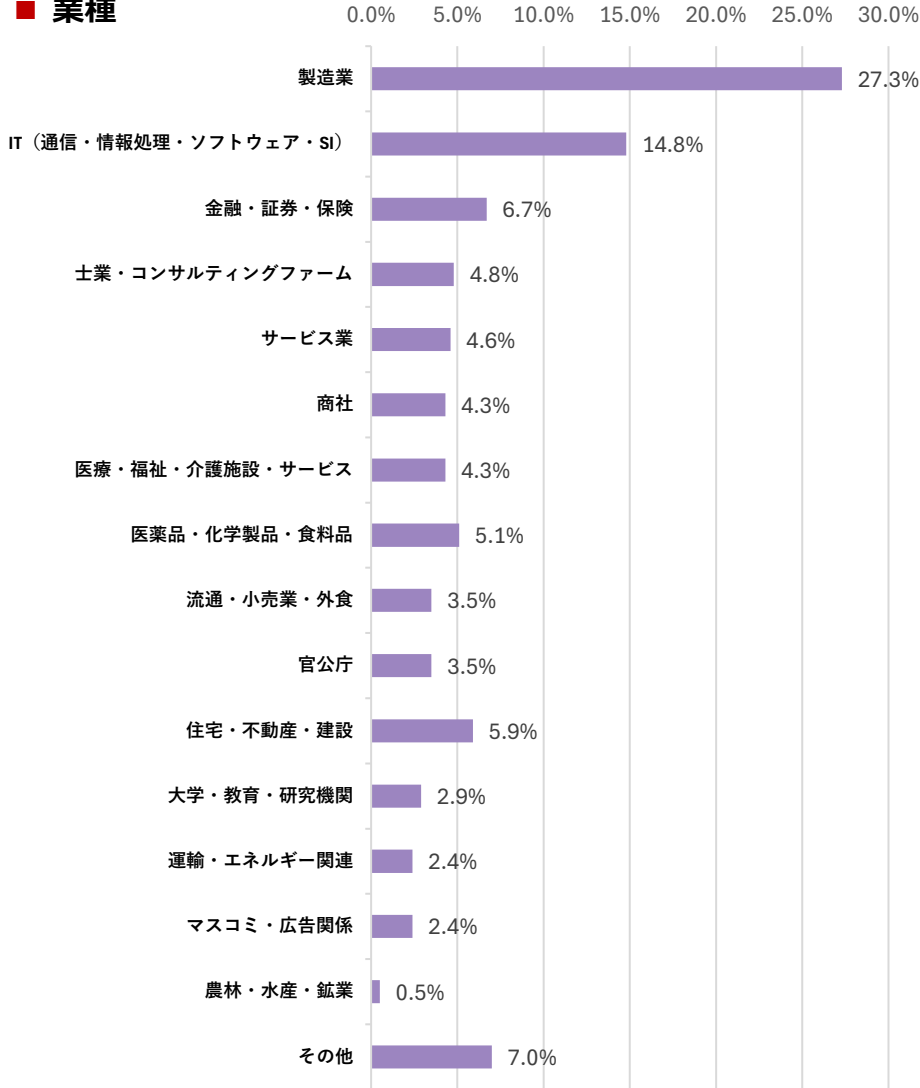
●セクション3（書評編）4p

なぜドラッカーは「真摯さ」にこだわったのか。ドラッカーの薫陶を受け、その著作をすべて読破されている田中弥生さん（会計監査院長）に、「真摯さ」の視点から3～5冊、ドラッカー本を選んでもらう

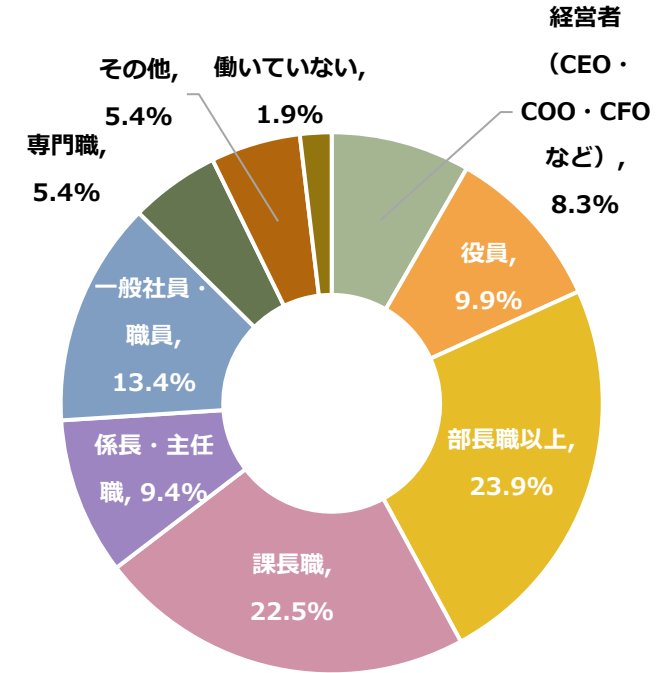
●セクション4（ドラッカー論文再掲）12-14p

■DHBR読者属性①

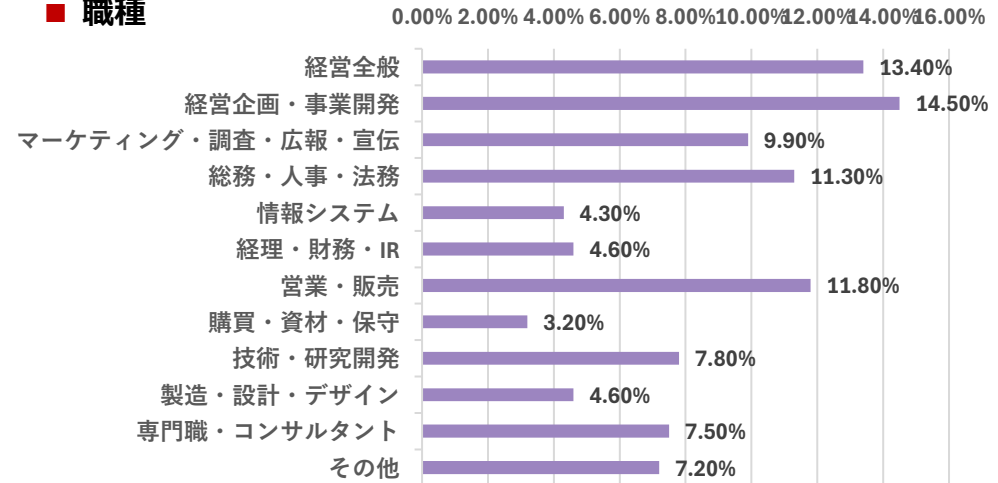
■ 業種



■ 役職

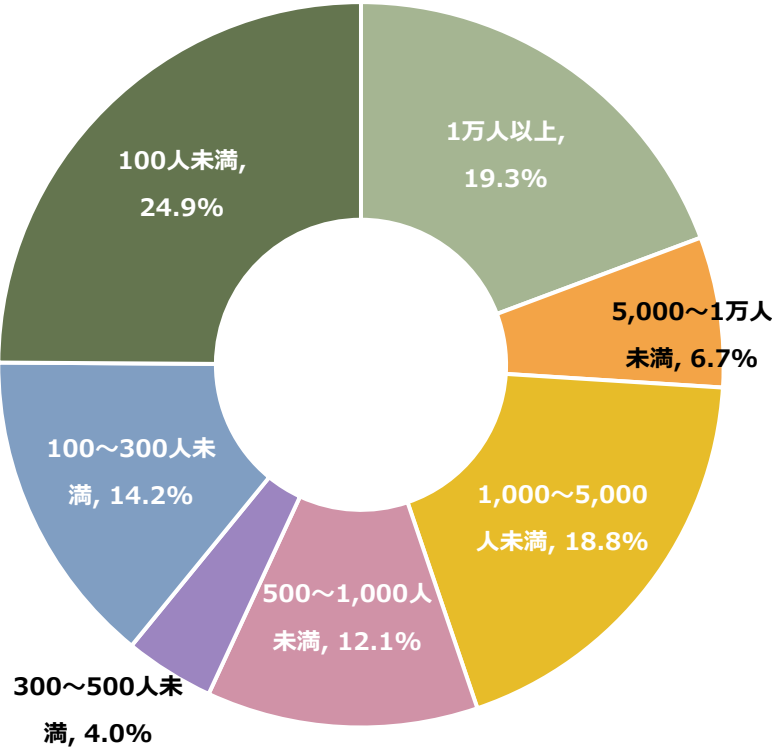


■ 職種

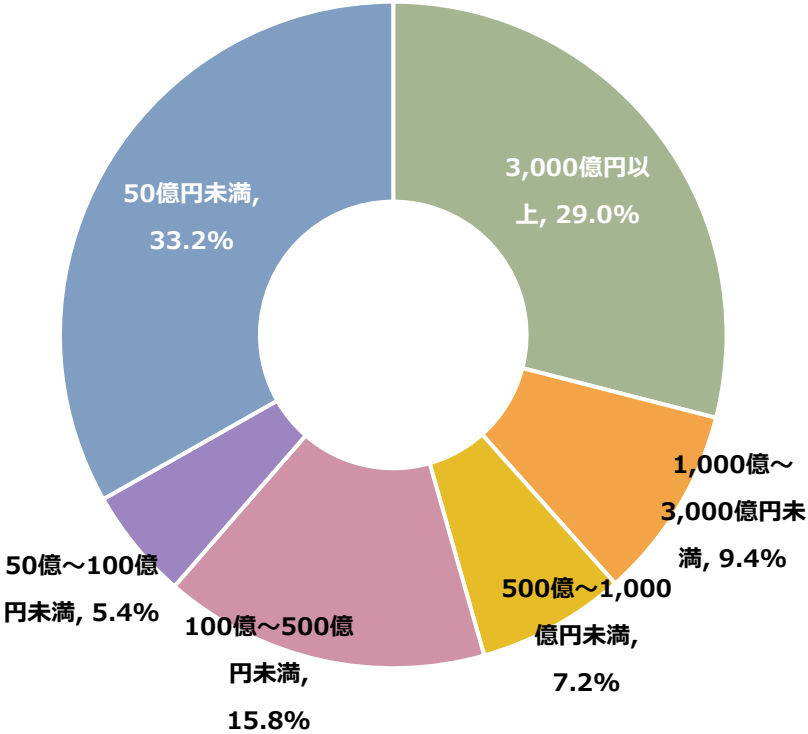


■DHBR読者属性②

■ 勤務先従業員数

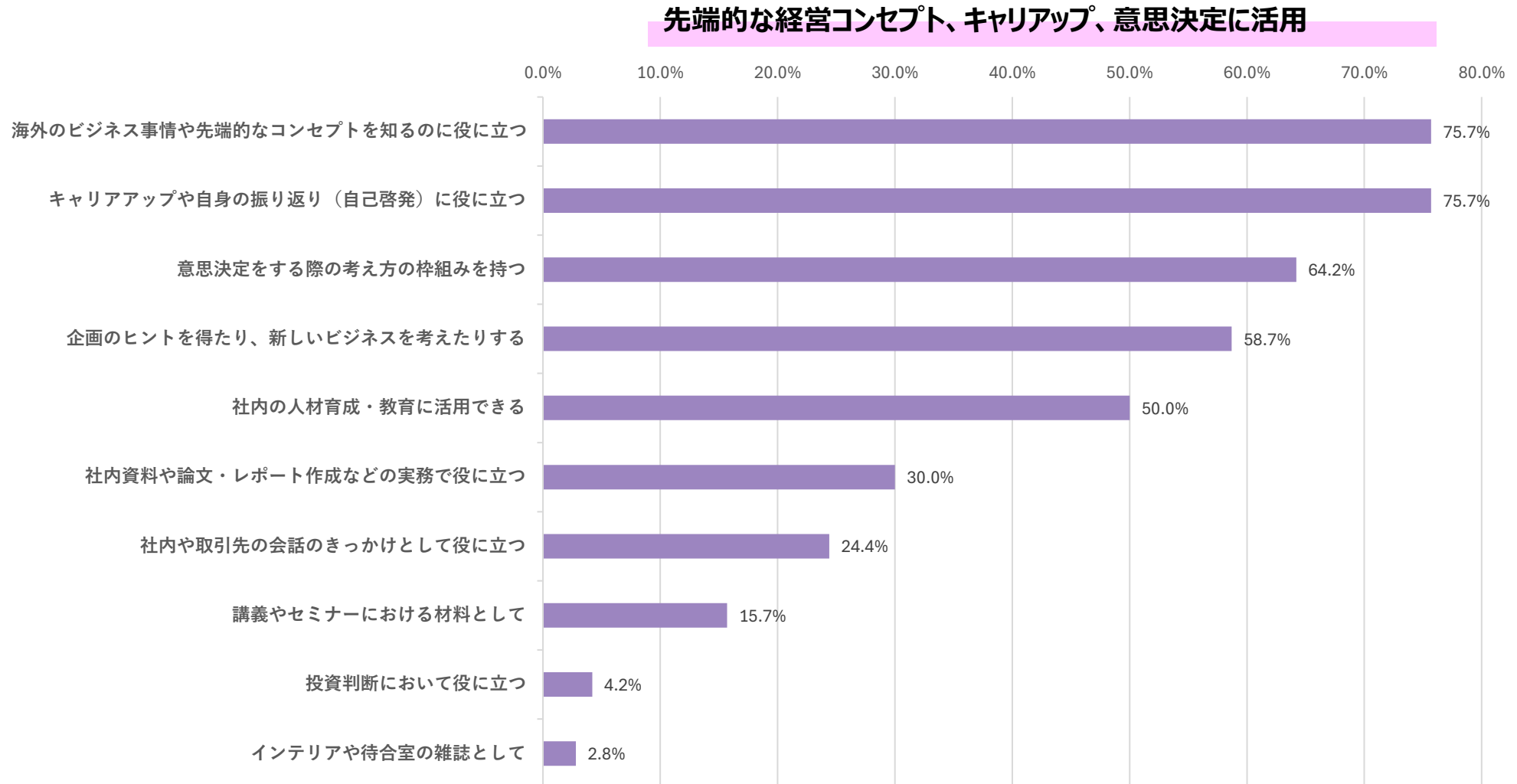


■ 勤務先売上規模



■ DHBR読者属性③

■ DIAMONDハーバード・ビジネス・レビューの活用方法



■ 広告掲載概要

連合企画ならではの構成で掲載されるタイアップ記事で効果的にメッセージを伝えることが可能です。
本誌/オンライン両方活用した**ハイブリッド掲載**に対応しています。

広告企画：タイアップ



広告企画：総論



※協賛企業が2社の場合の展開例



オンライン転載を
同時に実施可能



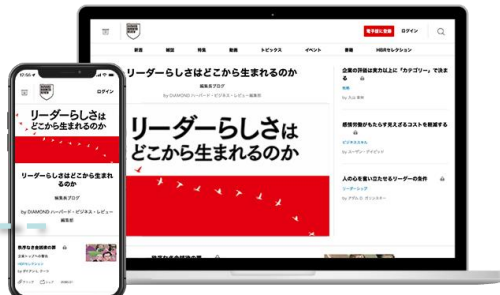
編集特集

P. F. ドラッカー 真摯さとは何か
没後20周年企画(仮)論文

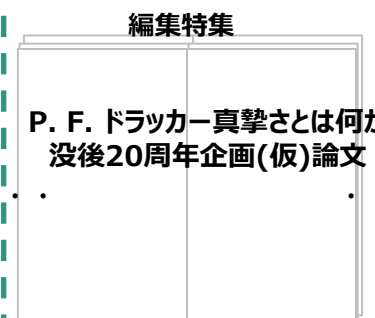
本誌



オンライン



■DHBR 誌面展開イメージ



各論記事 (≒広告タイアップ)

広告主様各社へ取材を行い、独自の視点で貴社サービスの特長や強みをタイアップ記事としてまとめます。

総論記事

企画テーマの内容に知見を持つプロフェッショナル、専門家へのインタビューやビジネス課題などについての解説記事を掲載いたします。

※編集特集につづいて広告企画を展開いたします。

<備考>

- ※1社ご参画の場合、総論はつかず、扉1Pのみとなります。
- ※2社ご参画の場合、扉はつかず、総論2Pのみとなります。
- ※3社以上ご参画の場合、扉+総論2Pの掲載となります。

■ DHBRオンライン展開イメージ

本誌掲載内容をオンラインに転載。DHBRオンライントップ、ダイヤモンド・オンラインの広告誘導枠から読者をタイアップページへ誘導いたします。

DHBRオンライントップ



ダイヤモンド・オンライン 広告誘導枠



誘導

オンラインタイアップ[®]（転載）



広告主様サイト



※掲載終了後に掲載レポートを提出



■企画料金（誌面／オンライン）／オプション料金

▼誌面2ページプラン

実施料金	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Premiumプラン	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Standardプラン	オンラインタイアップ のみプラン	雑誌タイアップ のみプラン
	4色2ページタイアップ（中面）			
制作費込／税別	490万円	370万円	300万円	250万円
オンライン掲載 保証PV	転載 10,000 PV	転載 5,000 PV	10,000 PV	-

▼誌面4ページプラン

実施料金	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Premiumプラン	誌面/オンライン ハイブリッドパッケージ Standardプラン	オンラインタイアップ のみプラン	雑誌タイアップ のみプラン
	4色4ページタイアップ（中面）			
制作費込／税別	690万円	570万円	300万円	450万円
オンライン掲載 保証PV	転載 10,000 PV	転載 5,000 PV	10,000 PV	-

▼オプション

・抜刷冊子



4色4ページ×1,000部～

450,000円～（税別）

※一社単独での抜き刷りの場合。

1,000部以上ご希望の場合はお問合せ下さい。

・オンラインタイアップ外部ブースト



ご要望に応じてお見積もりいたします、ご希望の場合はお問い合わせ下さい。

[本企画のお申込み締切]

タイアップ申込締切：**2025年8月28日（木）**

【お問い合わせ】

株式会社ダイヤモンド社 メディア局
ソリューション営業部

〒150-8409東京都渋谷区神宮前6-12-17

TEL:03-5778-7220 FAX:03-5464-0783

Mail:web_ad@diamond.co.jp